

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 4 月 7 日作成)

委員会名	集住文化小委員会	主 査 名：岡田知子
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：藤本信義
設 置 期 間	2002 年 4 月 ~ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	日本を含むアジアには多くの民族が居住しているが、そこでは自然環境と人間との共生を図り、自然環境を持続的、循環的に活用し、健康で快適な生活環境を形成する多様な集住文化が残されている。2003 年度はその多様な集住文化に関する研究成果の資料収集をし、計画論的視点から比較分析する。また、公開研究会を実施する。	
委員構成 (委員名(所属))	主査：岡田知子(西日本工業大学) 幹事：伊藤庸一(日本工業大学)・伴丈正志(長崎総合科学大学) 委員：加藤宏之(国立音楽大学)・川窪広明(大手前大学)・黒野弘靖(新潟大学)・後藤隆太郎(佐賀大学)・坂上みつ子(日本電子専門学校)・重村 力(神戸大学)・住谷 浩(北海道工業大学)・宋 俊淑(日本工業大学)・地井昭夫(広島大学)・月館敏栄(八戸工業大学)・西田和美(明石工専)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2003 年度予算	200,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	小委員会を 4 回開催した。() 内の人数は小委員会参加人数を示す。 5 月 10 日(土) 13:00~17:00(7 名)、9 月 6 日(土) 12:00~13:00(9 名)、 11 月 2 日(日) 13:00~15:00(11 名)、12 月 13 日 15:00~17:30(8 名) 公開研究交流会を開催した。 11 月 1 日(土) 13:30~18:00 公開研究交流会「美しくすむかたち」- 集住の知恵 8 - を韓国清州大学校で開催し 41 名が参加者した。
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) これまでの活動成果をとりまとめて出版し、集住の知恵として次世代に伝えていきたいと考えているが、4 回の小委員会を通してその準備を進めることができた。 韓国農村建築学会の共催で公開研究交流会を実施したが、日韓の農村計画研究について理解を深めることができた。また、小委員会の活動目的であるアジアの集住文化に関する研究成果が蓄積された。2 日目の見学会では忠清南道の農村集落と地域施設等を視察し、韓国農村の実情を知ることができた。 委員会 HP アドレス： http://leo.nit.ac.jp/~ito/aij/aijtop.htm
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 今年度の活動計画はほぼ達成された。
その他評価すべき事項	日本建築学会農村計画委員会と韓国農村建築学会は 1996 年から相互に来日、訪朝し、交流を深めてきている。これまでの実績と今回の公開研究交流会により親密な日韓交流に進展し、両国の農村計画研究の発展に寄与した。